第十二講・近代科学の父　ガリレオ・ガリレイ①（伝記）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「いったい、わたしに何を実験して確かめろというのですか。」

自分の研究したことを発表している学生が、あきれたような顔で言いました。

ここはイタリアのピサ大学です。今、物が落ちるときの速さについての議論が行われているのです。そのころの大学では、学士や博士の資格を取ろうとする者は、大学の中の広場で、自分の研究について発表しなければなりません。発表の日には、やりこめてやろうとする者が、どっと、広場に集まってきます。それらの人々と議論をして、だれにも言い負かされなければ、合格ということになるのです。

「いいですか。すべての物は、この大地にふくまれている物でできています。だから、母である大地に帰ろうとするのです。重い物は、大地に帰ろうとする物がたくさん集まってできています。だから、軽い物よりも速く大地に帰り着くわけです。重い物は軽い物よりも速く落ちると、アリストテレスが書いていることは、もちろんごぞんじですね。」

その学生は、子供にでも教えるような調子で、ガリレオに話しました。

「いや、わたしには、アリストテレスが書いたその説が、疑問なのです。アリストテレスが実験したという証こでもあるのですか。」

ガリレオの言葉に、広場に集まっていた教授や学生がおこり始めました。

「もう、そいつの質問なんか取り上げなくてもいい。次の問題に移れ。」

みんなはガリレオには構わず、次の問題の議論に

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

移っていきました。

しかし、ガリレオには、昔のえらい人が言ったことだからすべて正しいと信じこんでいるみんなの考えが、どうしてもなっとくできませんでした。

〈岩崎（いわさき）　明（あきら）「近代科学の父―ガリレオ・ガリレイ」より〉

(1) この場面で、学生は具体的に何について発表しているのですか。文中から十四字でぬき出しなさい。

□□□□□□□□□□□□□□

(2) ――線「その説」とは、どんな説ですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□□は□□□よりも□□□□□という□□□□□□□の説。

(3) ガリレオは、広場に集まっていた人々とはちがう考え方をもっていました。その考え方について説明した次の文の□に入る言葉としてふさわしいものをあとから一つ選び、記号で答えなさい。

ガリレオは昔のえらい人が言ったことを、□と考えていた。

ア すべて正しいと信じこむのはおかしい

イ すべてまちがっていると思いこむのはおかしい

ウ すべて研究しつくされていると思うのは当然だ

エ すべて研究しなおすのはおかしい

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

ガリレオは、ふりこを使って人の脈の速さを測る道具を発明したり、物の重心についての理論（りろん）を発表したりするなど、めざましい活やくを見せました。ガリレオの名はまたたくまにヨーロッパじゅうに広がり、第一級の天才科学者といわれるようになったのです。

有名になったガリレオは、母校のピサ大学に二十五才というわかさで教授にむかえられました。しかし、ほかの教授のように、①昔のえらい学者の意見を頭から信じて学生に教えるというようなことはしませんでした。

「確かに②アリストテレスはえらい学者だ。だからといって、諸君（しょくん）は、ほんとうかどうかわからないことまでも信じる必要はない。」

「先生、まさか、アリストテレスの言っていることに、うそはないでしょう。」

おどろいて聞き返す学生に、ガリレオはほほえみながら答えました。

「そうかね、アリストテレスは、重い物は軽い物よりも速く落ちると書いているが、わたしの観察では、これはまちがっている。」

「えっ。でも、重い物のほうが速く落ちるのは……。」

「わかりきったことだと言いきれるかね。だれもためした人はいないのに、アリストテレスの説ということだけで、信じこんではいないかね。」

「先生、アリストテレスの説を疑（うたが）うなんて、③空のお日様の数を疑うようなものだと思いますが……。」

ガリレオは静かに言いました。

「諸君、正しいかどうかを決めるのは実験だ。わたしがそのまちがいを証明してみせよう。諸君の目で、どちらが正しいか見きわめなさい。」

大学の中は大さわぎになりました。教授になりたての青年が、こともあろうに、「物理学の神様」といわれるアリストテレスのまちがいを証明してみせ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

るというのです。

〈岩崎明「近代科学の父―ガリレオ・ガリレイ」より〉

(1)　ガリレオが発明したものを、文中から十五字以上二十字以内でぬき出しなさい。

(2)　――線①「昔のえらい学者の意見を頭から信じて学生に教えるというようなことはしませんでした」とありますが、ガリレオは何によって正しいことを教えようとしましたか。文中から二字でぬき出しなさい。

(3)　――線②「アリストテレスはえらい学者だ」とありますが、そのためみんなから何とよばれていましたか。文中から六字でぬき出しなさい。

(4)　――線③「空のお日様の数を疑うようなもの」とありますが、どのようなことをたとえた表現ですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

疑う意味もないほど□を、疑うということ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講・確認テスト

次の季語の季節を選びなさい。

1　五月雨（さみだれ）
ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

2　卒業
ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

3　枯野（かれの）
ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

4　たんぽぽ
ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

5　せき
ア　春　イ　夏　ウ　秋　エ　冬

ⒸRECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十二講　近代科学の父　ガリレオ・ガリレイ①（伝記）

一題目

(1) 物が落ちるときの速さについて
(2) 重い物・軽い物・速く落ちる・アリストテレス
(3) ア

二題目

(1) ふりこを使って人の脈の速さを測る道具
(2) 実験
(3) 物理学の神様
(4) わかりきったこと

〈確認テストの解答〉

1　イ　2　ア　3　エ　4　ア　5　エ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。